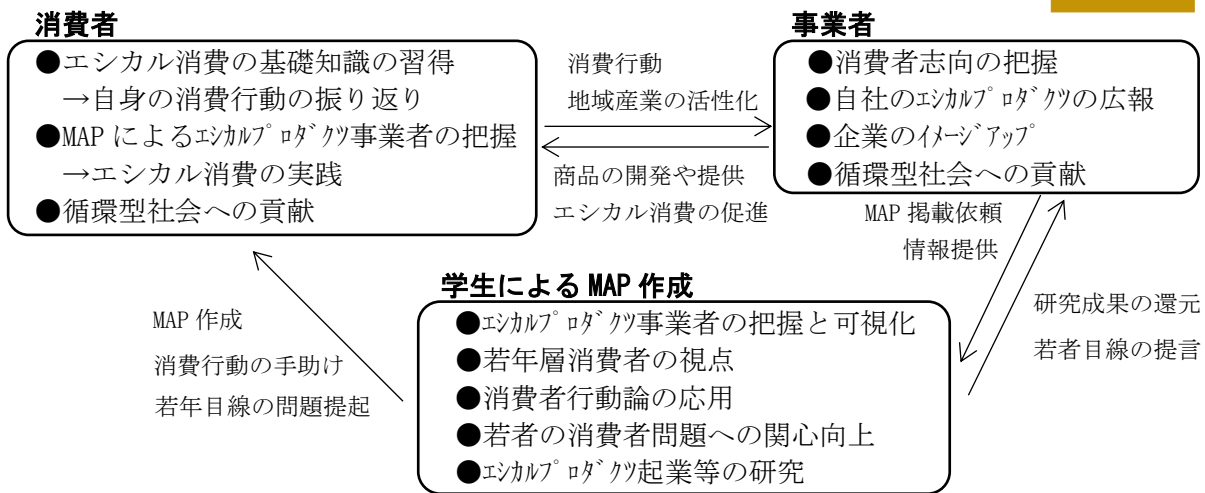


1 概要

平成30年度からの第2次消費生活基本計画では、「エシカル消費」を広く県民に周知啓発することにより、「人」「社会」「地域」「環境」に配慮した消費行動を促し、持続可能な社会の実現、地域活性化等の社会的課題の解決を目指す。加えて、長寿県であることから「健康」にも配慮する「長野県版エシカル消費」として特徴を持たせ、事業を推し進める。

平成30年度においては、5ヶ年計画初年度のキックオフイベントとしてシンポジウムを開催するとともに、発信力が高い若年層消費者の視点を取り入れ、大学生と協働でエシカルな消費行動に繋がる商品・サービスの提供（エシカルプロダクト）を実践する事業者を可視化することを目的としたMAPの作成を行う。

【長野県版エシカル消費促進事業のイメージ】



2 内容

(1) 長野県版エシカル消費啓発に向けた取組

① シンポジウムの開催

- ・ 時期：平成30年12月頃1回開催（キッセイ文化ホール 中ホール）
- ・ 内容：【基調講演】持続可能な県を目指し、県民の学び・産官学連携の在り方を探る
講師候補者：長野県立大学教授 大室悦賀氏 等

【パネリスト候補】パネリスト候補者：長野県立大学学生、エシカル商品取扱事業者等

【ロビーでの啓発活動】パネル展示、エシカル商品展示販売ブース設置

② 生協・事業者団体との連携による啓発（0 予算事業）

- ・ 組合員や構成事業者に対する啓発、生協に対しエシカルプロダクトの取組要請

③ マスコミ、市町村広報媒体等を利用した啓発（0 予算事業）

(2) エシカルプロダクト啓発に向けた取組

① エシカルプロダクトに関するMAP作成調査

- ・ 調査期間：平成30年6月頃から12月頃まで
- ・ 調査方法：長野県立大学で消費者行動論を学ぶ学生を中心に県内各地域の学生と連携し、県内のエシカルプロダクトに関わる事業者の現状調査及びMAP作成を依頼する（京都府、京都市の先進事例を参考）。また、シンポジウムの中で学生による調査結果の発表を行う。

② 長野県立大学や産業労働部等関係部局と連携した啓発（0 予算事業）

3 予算額 4,135千円(地方消費者行政強化交付金 1/2 2,067千円、一般財源 2,068千円)(プ)